



## 2024年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月14日

上場会社名 株式会社スプリックス 上場取引所 東  
コード番号 7030 URL https://sprix.inc  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 常石 博之  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 平井 利英 TEL 03(6912)7058  
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年9月期第1四半期の連結業績（2023年10月1日～2023年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第1四半期	8,183	6.0	1,061	41.4	1,066	41.7	652	43.7
2023年9月期第1四半期	7,718	2.4	750	△40.9	752	△40.8	454	△44.1

(注) 包括利益 2024年9月期第1四半期 651百万円 (44.2%) 2023年9月期第1四半期 451百万円 (△44.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第1四半期	37.48	37.04
2023年9月期第1四半期	26.31	25.80

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第1四半期	20,609	10,045	48.5
2023年9月期	20,143	9,706	48.0

(参考) 自己資本 2024年9月期第1四半期 10,001百万円 2023年9月期 9,662百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	19.00	—	19.00	38.00
2024年9月期	—	—	—	—	—
2024年9月期（予想）	—	19.00	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,050	5.6	1,050	△20.4	1,050	△20.4	450	△19.9	26.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期1Q	17,774,400株	2023年9月期	17,633,250株
② 期末自己株式数	2024年9月期1Q	337,085株	2023年9月期	341,085株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期1Q	17,408,474株	2023年9月期1Q	17,257,166株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化に向けた動きが進み、個人消費や設備投資に持ち直しが見られ、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、ウクライナ情勢の長期化やパレスチナ問題などの影響によるエネルギー・原材料価格の高騰や物価上昇が懸念されるなど、依然として先行きは不透明な状況が継続いたしました。

当社グループの属する教育サービス業界におきましては、少子化が進むなかで、様々な教育制度改革が進行しております。また、あらゆる産業でアナログからデジタルへの転換、サービスの在り方が見直されるなか、IT技術の活用等による新たな教育・指導形態の必要性も一層高まってきております。

2023年8月28日付「連結子会社との会社分割（簡易・略式吸収分割）に関するお知らせ」の通り、当社グループ全体の資産効率の向上を図るため、2023年10月1日付で当社の連結子会社である株式会社湘南ゼミナールがフランチャイジーとして運営を行っていた森塾事業を会社分割により承継いたしました。今回の森塾事業統合により、今後一段と激しい変化が見込まれる学習塾業界において、戦略的営業体制を構築し、さらなる競争力強化を図ります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は8,183百万円（前年同期比6.0%増）、営業利益は1,061百万円（前年同期比41.4%増）、経常利益は1,066百万円（前年同期比41.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は652百万円（前年同期比43.7%増）、EBITDA（＝営業利益+支払利息+のれん償却額+減価償却費）は1,362百万円（前年同期比30.5%増）となりました。

セグメント情報は次の通りです。

## 「森塾」

中核事業である個別指導形式の学習塾「森塾」におきましては、当第1四半期連結会計期間末において209教室（前年同期比18教室増）展開しております。また、2023年春以降の授業料の単価アップとともに、生徒数が順調に推移いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末における「森塾」在籍生徒数は47,193人と、前年同期比2,472人増となりました。

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比
売上高（注1）	4,025百万円	4,335百万円	7.7%増
セグメント利益（注1、2）	1,025百万円	1,496百万円	45.9%増
EBITDA（注3）	1,080百万円	1,528百万円	41.4%増
教室数	191教室	209教室	18教室増
生徒数	44,721人	47,193人	2,472人増

注1）売上高は外部顧客への売上高、及びセグメント利益は、セグメント間取引の相殺前の数値であります。

注2）セグメント利益は、のれんを除く無形固定資産の償却費を反映しております。

注3）EBITDAは、営業利益+支払利息+のれん償却額+減価償却費であります。

## 「湘南ゼミナール」

集団指導形式の学習塾「湘南ゼミナール」におきましては、当第1四半期連結会計期間末において196教室（前年同期比14教室増）を展開しております。2023年春の合格実績は回復したものの合格実績がマーケットに浸透するまでには時間を要しており、授業料単価はアップしましたが、当第1四半期連結会計期間末における「湘南ゼミナール」在籍生徒数は19,884人（前年同期比711人減）となりました。

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比
売上高	2,362百万円	2,460百万円	4.1%増
セグメント利益	469百万円	458百万円	2.3%減
EBITDA	554百万円	569百万円	2.8%増
教室数	182教室	196教室	14教室増
生徒数	20,595人	19,884人	711人減

## 「河合塾マナビス」

講義映像とチューターを用いた大学受験指導を行う学習塾である「河合塾マナビス」におきましては、当第1四半期連結会計期間末において株式会社湘南ゼミナールがフランチャイジーとして50教室（前年同期比1教室増）を展開しております。大学入試における一般入試割合の低下による高校3年生の生徒数減少などから、当第1四半期連結会計期間末における「河合塾マナビス」在籍生徒数は4,959人（前年同期比241人減）となりました。

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比
売上高	774百万円	721百万円	6.8%減
セグメント利益	78百万円	26百万円	65.7%減
EBITDA	120百万円	82百万円	31.3%減
教室数	49教室	50教室	1教室増
生徒数	5,200人	4,959人	241人減

## 「その他」

「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「新規事業（研究開発費等を含む）」、「自立学習RED」、「そら塾」、教育関連サービス（フォレストシリーズの販売、「東京ダンスヴィレッジ」、「和陽日本語学院」、「プログラミング能力検定」の運営）等を含んでおります。

「自立学習RED」は、教育ITを利用した学習塾であり、当第1四半期連結会計期間末において直営6教室（前年同期比1教室増）、FC199教室（前年同期比3教室増）を展開しております。

また、「その他」に含まれる教育関連サービスにおきましては、個別指導用教材「フォレストシリーズ」、ICTを活用した映像教材「楽しく学べるシリーズ」、塾講師募集webサイト「塾講師JAPAN」などの既存事業がいずれも堅調だったことに加え、AIタブレットで基礎学力を養成する「DOJO」や、サイバーエージェントグループと協業中の「キュレオプログラミング教室」「プログラミング能力検定」などの新規事業も順調に拡大しております。さらに、投資フェーズではありますが、国際基礎学力検定「TOFAS」の受験者数は累計350万人を突破し、順調に推移しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、20,609百万円（前連結会計年度末比465百万円増）となりました。主な要因は、未収入金が327百万円増加したことなどによるものであります。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、10,563百万円（前連結会計年度末比126百万円増）となりました。主な要因は、前受金が558百万円減少したものの、未払金が326百万円、未払法人税等が285百万円増加したことなどによるものであります。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、10,045百万円（前連結会計年度末比339百万円増）となりました。主な要因は、配当金の支払いにより328百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益652百万円により増加したことなどによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2023年11月10日の「2023年9月期 決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,007	6,313
売掛金	381	369
商品及び製品	297	505
仕掛品	45	68
貯蔵品	24	21
未収入金	2,430	2,757
その他	757	411
貸倒引当金	△37	△46
流動資産合計	9,906	10,400
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,268	3,249
土地	450	517
その他(純額)	108	118
有形固定資産合計	3,828	3,884
無形固定資産		
のれん	2,496	2,422
ソフトウェア	207	215
その他	927	855
無形固定資産合計	3,631	3,492
投資その他の資産		
投資有価証券	20	20
繰延税金資産	605	617
敷金及び保証金	2,044	2,089
その他	107	103
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,777	2,831
固定資産合計	10,237	10,209
資産合計	20,143	20,609

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	103	207
未払金	1,543	1,870
短期借入金	754	838
1年内返済予定の長期借入金	363	363
未払法人税等	171	457
未払消費税等	200	180
前受金	4,264	3,706
賞与引当金	441	345
その他	700	693
流動負債合計	8,543	8,663
固定負債		
長期借入金	727	725
役員退職慰労引当金	73	74
退職給付に係る負債	124	126
資産除去債務	968	974
繰延税金負債	0	0
固定負債合計	1,893	1,900
負債合計	10,437	10,563
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,438	1,444
資本剰余金	1,428	1,434
利益剰余金	7,173	7,497
自己株式	△380	△377
株主資本合計	9,659	9,999
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	2	2
その他の包括利益累計額合計	2	2
新株予約権	44	43
純資産合計	9,706	10,045
負債純資産合計	20,143	20,609

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
売上高	7,718	8,183
売上原価	4,948	5,118
売上総利益	2,769	3,064
販売費及び一般管理費	2,019	2,003
営業利益	750	1,061
営業外収益		
受取利息	0	0
業務受託料	0	—
助成金収入	1	0
受取手数料	2	—
その他	1	9
営業外収益合計	5	9
営業外費用		
支払利息	1	1
その他	1	2
営業外費用合計	2	3
経常利益	752	1,066
特別利益		
新株予約権戻入益	—	2
特別利益合計	—	2
税金等調整前四半期純利益	752	1,069
法人税、住民税及び事業税	275	428
法人税等調整額	23	△11
法人税等合計	299	416
四半期純利益	453	652
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	454	652



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	453	652
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	△1	△0
その他の包括利益合計	△1	△0
四半期包括利益	451	651
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	452	651
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自2022年10月1日至2022年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 財務諸表 (注3)
	森塾	湘南 ゼミナール	河合塾 マナビス	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	4,025	2,362	774	7,162	555	7,718	—	7,718
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	4,025	2,362	774	7,162	555	7,718	—	7,718
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	18	18	△18	—
計	4,025	2,362	774	7,162	574	7,736	△18	7,718
セグメント利益 又は損失(△)	1,025	469	78	1,573	△275	1,298	△548	750

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「新規事業(研究開発費等を含む)」、「自立学習RED」、「そら塾」、教育関連サービス(フォレストシリーズの販売、「東京ダンスヴィレッジ」、「和陽日本語学院」、「プログラミング能力検定」の運営)等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△548百万円には、のれんの償却額△76百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△471百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメント及びその他に帰属しない販売費および一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2023年10月1日至2023年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 財務諸表 (注3)
	森塾	湘南 ゼミナール	河合塾 マナビス	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	4,335	2,460	721	7,517	665	8,183	—	8,183
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	4,335	2,460	721	7,517	665	8,183	—	8,183
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	0	0	△0	—
計	4,335	2,460	721	7,517	665	8,183	△0	8,183
セグメント利益 又は損失(△)	1,496	458	26	1,982	△248	1,733	△672	1,061

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「新規事業(研究開発費等を含む)」、「自立学習RED」、「そら塾」、教育関連サービス(フォレストシリーズの販売、「東京ダンスヴィレッジ」、「和陽日本語学院」、「プログラミング能力検定」の運営)等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△672百万円には、のれんの償却額△4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△667百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメント及びその他に帰属しない販売費および一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。